



南小だより

さわやかなあいさつ 明るい教室 きれいな

学校教育目標 「心豊かにたくましく生きる児童の育成」

平成28年7月20日

かしこい子 やさしい子 たくましい子

第5号「夏休み号」

川越市立高階南小学校

思い出に残る楽しい夏休みを！

明日から42日間にわたる長い夏休みが始まります。子どもたちは、みんな心待ちにしていることと思います。子どもたちが思い出に残る楽しい夏休みを過ごせるよう、終業式では、次のような話しをしました。

今年の夏休みは、楽しみなことが1つあります。何でしょうか。そうです。リオオリンピックです。

今日は、体操競技の日本代表としてリオオリンピックに出場する、内村航平選手についてお話しします。

内村選手は、体操選手だった両親の影響もあって、3才から体操を始めたそうです。その才能もあってかメキメキと頭角を現し、様々な競技会で最年少記録を塗り替える大活躍をするなど、世界中が認める体操選手となりました。

内村選手は、北京とロンドンのオリンピック2大会で金メダル1個、銀メダル4個を獲得し、世界選手権では現在6連覇中で、金メダル10個、銀メダル5個、銅メダル4個を獲得しています。このメダルの数からも、世界一の体操選手であることが分かりますね。こんな内村選手ですから、周りの人は、体操の天才！体操するために生まれてきた！などと言うそうです。確かに天才かも知れませんが、内村選手のことをよく知る人はこう話しています。「内村選手の練習量は、他のどの選手よりも多い。群を抜いている。大げさでなく10倍も20倍もやっている。国際体操連盟が認定している技は、6種目で計799個もあるが、彼は、その技を全てマスターしている。そんな選手、他のどの国に行ってもいない。」

内村選手が本当にすごいのは、この練習量かも知れませんが、内村選手本人も、「信じられるのは練習だけ」と言っています。最近では、嫌いだった野菜も進んで食べ更に強くなろうと体調管理にも努めているそうです。

長い夏休み、みなさんも、いろいろなことにチャレンジすることと思います。そんな時、「世界チャンピオンなのに他の人の10倍も20倍も練習している内村選手」のことをぜひ思い出してください。そして、勉強でも運動でも、簡単にあきらめたり、投げ出したりせず、最後まできちんとやり通しましょう。そうすればきっと、思い出に残る楽しい夏休みになると思います。オリンピックで活躍する内村選手を、みんなで応援しましょう。

さて、楽しい夏休みにするために、次の3つのことにも注意してほしいと思います。

その1、交通事故に遭わないように、十分注意しましょう。

夏休み中、だれも交通事故に遭わないように、絶対に飛び出しをしないと約束してください。狭い道から広い道に出るとき、曲がるときは、必ず一旦止まってください。「飛び出しはダメ！」

ご家庭で → 交通安全については、毎日の声かけと見守りをお願いします。

その2、家の仕事や手伝いをしましょう。

毎日、家で自分のやる仕事や手伝いが決まっている人は、プラス1（もう一つ）に挑戦しましょう。手伝いが決まっていない人は、家族のために役に立つような手伝いをしてください。頑張ってください。

ご家庭で → チャレンジしたことに「助かったよ。ありがとう。」のねぎらいの言葉をお願いします。

その3、平和について考えましょう。

昔、多くの国々を相手に戦争をしていた日本は、昭和20年8月15日に降伏し、戦争が終わりました。今から71年前のことです。8月6日には広島に、8月9日には長崎に、アメリカの原子爆弾が落とされました。この戦争で、日本人だけでも300万人以上の人々が亡くなりました。私たち日本人は、こうした日を忘れてはならないと思います。戦争の恐ろしさを学び、平和を願い、守ることを考える日にしたいものです。

ご家庭で → 東松山市高坂の「ピースミュージアム（平和資料館）」を訪ねる、「石うすの歌」を読む、おじいちゃんやおばあちゃんの昔話を聞くなどの機会を持っていただけたらと思います。

この3つのことを心に留めて、よい夏休みにしましょう。そして、9月1日に、また全員が元気で会えるようにしましょう。